

進路だより

北九州市立特別支援学校
北九州中央高等学園 進路支援部
令和7年1月30日(木)
第30号

◆『就職に向けての取り組み』として◆

今週は北九州障害者しごとサポートセンター所長よりお話しいただいた「働くために必要な準備について」の講話内容をお伝えします。

★働くために必要な準備について★



しごとサポートセンターの支援内容のほか、働くために必要な準備として『仕事が続いている人の行動』と『就業生活に向けて身につけて欲しい生活力』の2つの内容で、お話がありました。

仕事が続いている人の行動

- ①休まない 遅刻をしない
- ②挨拶や返事ができる
- ③朝・昼・夕の食事を摂り 健康管理ができている
- ④平日は決まった時間に寝て 決まった時間に起きている
- ⑤人が見ていなくても 変わりなく仕事ができる
- ⑥ルールを守り 分からない時は 上司や同僚に聞いている
- ⑦相談する人がある 相談できる
- ⑧楽しみがある やりたいことがある

就業生活に向けて身につけて欲しい生活力

- ①挨拶・返事・お礼が言える
- ②決まった時間に就寝し 決まった時間に起床できる
- ③朝・昼・夕の食事を摂る
- ④困った時は 先生や友人、家族に相談できる
- ⑤学校でのルールを守り 分からないことは確認する
- ⑥言葉遣い
- ⑦学校生活を楽しむことができる

北九州障害者しごとサポートセンター所長さんからは、学校生活と就業生活の違いとして、学校生活では教職員の指導やサポートがありますが、就業生活では「指示された仕事を自ら覚え 分からない時は自分から聞く」「楽しみややりがいを見つめる」など卒業後の働く場は、学校と違って働いて賃金を得る場となりますので、より『自主性や自立性が求められる』というお話がありました。

最後に元気に働く人から見てくるものとして、以下の3点が大切だとのことでした。

- ①安心できる環境がある
- ②楽しい体験ができている
- ③認められる体験ができている